

財 政

昭和29年、市制施行のとき、合併町村から引きついだ赤字は830万円、それに合併条件など実施により、29年末は1,300万円となった。

その後年々増加し、31年末、2,333万円にも達したので、自治省の調整をうけ、自主財政再建計画をたて確認をうけた。

36年までの5カ年計画で経費の節減、事業の縮小につとめて、36年には赤字を解消し、以来、健全財政の確立を期している。

また合併当時の予算は約1億2千万円であったが、41年度は特別会計をふくめて7億10万1千円とその財政規模は拡大した。都留文科大学の建設、中学校の統合を始め、都市計画事業の推進など、文教都市建設に力を注いでいる。

一般会計当初予算（昭和41年度）

単位千円

歳 入			歳 出		
款	科 目	金 額	款	科 目	金 額
	総 額	383,800		総 額	383,800
1	市 税	106,880	1	議 会 費	15,755
2	臨時地方特例交付金	3,780	2	総 務 費	72,621
3	地方交付税	135,000	3	民 生 費	74,914
4	分担金及び負担金	9,411	4	衛 生 費	7,280
5	使用料及び手数料	8,735	5	労 働 費	10,523
6	国庫支出金	74,484	6	農 林 水 産 費	14,969
7	県 支 出 金	7,495	7	商 工 費	3,307
8	財 産 収 入	11,431	8	土 木 費	51,333
9	寄 附 金	1,982	9	消 防 費	16,168
10	繰 越 金	1	10	教 育 費	70,784
11	諸 収 入	4,201	11	災 害 復 旧 費	1,825
12	市 債	20,400	12	公 債 費	41,256
13			13	諸 支 出 金	2,065
14			14	予 備 費	1,000

○ 特別会計

都留文科大学	97,755千円
都留自動車教習所	4,774千円
国民健康保険	73,000千円
上水道	20,580千円
公益質屋	930千円
都留文科大学建設	114,304千円
その他盛里財産区 管理会等	4,958千円

